

デザイン系演習のオンライン授業について

-TAから見た印象-

千葉工業大学大学院 工学研究科 デザイン科学専攻
修士2年 奥田祥太郎

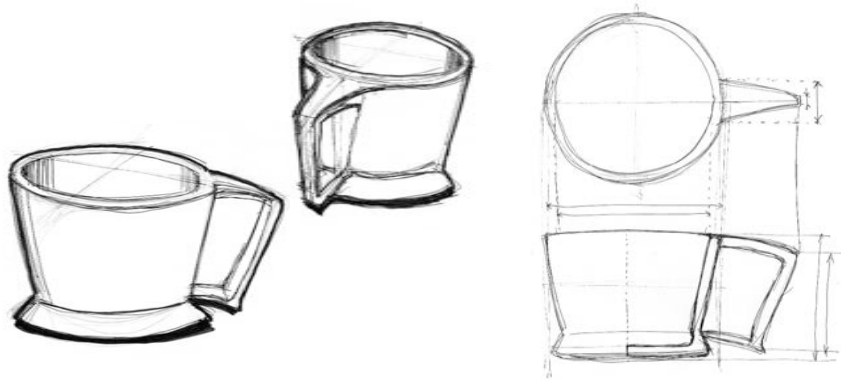
目次

- 1 どのようなオンライン授業であったか
- 2 大学からのサポート体制について
- 3 工夫した点
- 4 オンラインでの印象(良かった点・悪かった点)
- 5 今後のオンライン授業への期待

1 どのようなオンライン授業であったか

授業の概要

デザインプロセスを学び、検証を経て立体物としての成果物を作成する
(カップスープのための容器のデザイン)



1 どのようなオンライン授業であったか

授業名 製品デザイン基礎

方法 Zoomによるリアルタイムオンライン授業

構成 教員:2名, TA[※]:5名, 受講生:125名(学部3年) ※TA: Teaching Assistant (教育補助業務)

1 どのようなオンライン授業であったか

授業の流れ

課題説明



個人作業



進捗報告

1 どのようなオンライン授業であったか

授業の流れ

課題説明

個人作業

進捗報告

全員が集まったルームで、一連の流れなどを教員から説明

zoomの画面共有機能を使い、資料スライドを見せながら説明を行う。

1 どのようなオンライン授業であったか

授業の流れ

課題説明

個人作業

進捗報告

学生各々が成果物作成に向け作業をする

基本はミュートにし作業を進め、わからないことや質問等があれば発言またはチャットでコメントする。

1 どのようなオンライン授業であったか

授業の流れ

課題説明

個人作業

進捗報告

TAごとの部屋に分かれ、進捗を発表する

数名のグループに分かれ、進めた作業の資料をバーチャル背景機能を使い、どこまで進んでいるのかを学生お互いに発表する。

2 大学からのサポート体制について

manaba

千葉工業大学の教員・学生に向けた授業支援システム
オンラインで資料の共有や提出物・成績の管理を行う

その他のサポート

教員向けのビジネスプラン利用のサポート



zoom



Webex Teams



G Suite

3 工夫した点 TA同士の綿密な打ち合わせ

時間配分の調整

TA・学生共に慣れていないため、余裕を持った時間配分で授業の構成を組んだ

役割の分担

出席の管理、資料共有、質問への対応などの役割をTA5名で分担

トラブル発生時の迅速な対応

通信環境によるダウンが発生した際のバイパスの確保など
オンライン特有のトラブル対応に努めた

3 工夫した点 オンライン授業を受ける上での心得

より良いグループワークのための注意事項

画面共有など、グループワークを行う上で必要不可欠な機能について説明します。

➡ 各自の使用機器で今一度、動作の確認をしてください

就活の面接やグループワークもオンライン化しています。

➡ 就活でより良い印象を残すための技術習得でもあるので、注意事項に気をつけて取り組んでみてください

3 工夫した点 オンライン授業を受ける上での心得

より良いグループワークのための注意事項 ビデオやマイクをONにしよう



 表情や反応が分かり、話が伝わっているかどうか読み取れます。



 表情や反応が読み取れず、話を聞いてもらえているの分かりません。

7

顔出し、マイクの推奨、促進

4 オンラインでの印象

良かった点

- ・ グループメンバーの生成をその場でランダムに設定できる
- ・ 学生のどこまで進んでいるのかを把握しやすい

悪かった点

- ・ 提示した課題と学生の解釈に食い違いが生じた
- ・ あまり顔を出してくれない(いるのかいないのかわからない)
- ・ 入室許可、出欠・遅刻の管理が行き渡らなかった
- ・ 今までの授業よりもTAの荷が重い

5 今後のオンライン授業への期待

TA・学生・教員共にオンラインでやりとりすることに慣れ、様々な方向に応用を効かせることが望まれる。

- 投票機能やチャット機能などを駆使し、より効率的な学習
- オンラインに対する抵抗の払拭
- 就職活動の面接やインターンなどの学外活動対策への応用